

保護者の皆様

令和4年2月24日

吹田市立南山田小学校
校長 江下 毅

学校教育アンケートの結果について

「学校教育アンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。

今回、各家庭にアンケート調査をお願いし1008通（回収率は97.1%）の回答をいただき、集計結果をまとめました。この調査は例年ほぼ同じ項目で実施しており、経年比較も含めた結果をもとに、学校の教育活動を検証し、今後の学校教育の活性化や改善の資料として活かしてまいります。

【1. 児童アンケートより】

- 今年度、肯定的意見が特に大きく増えた項目は以下の項目でした。
 - 【全学年】・授業で分からないことについて先生や友達に聞きやすい。
・クラスの先生の他にも、保健室などで話せる先生がいる。
 - 【低学年】・授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることがある。
・クラスで意見を発表している。
 - 【中学年】・学校行事は楽しい。
 - 【高学年】・授業でコンピュータを使っている。
- 昨年度と比べて、肯定的な回答が減少した項目は以下の項目でした。
 - 【全学年】・「あゆみ」を見ると自分の学習の様子がわかる。
・授業では、実験・観察をしたりする。
 - 【低学年】・先生は色々工夫をして教えてくれて授業がわかりやすい。
・先生が頑張ったことをほめてくれる。
 - 【高学年】・学校行事は楽しい。
・地震や火災、不審な人が現れたときどうしたらいいかを教えてもらっている。

全体的に肯定的な回答が80%以上の項目が多い中、すべての児童が「学校へ行くのが楽しい」と思うことができる学校づくりが本校の目標であり、最大の喜びです。今回の調査でも、低学年では93.4%、中学年で96.4%、高学年では82.6%の肯定的な回答を得ました。しかし、「思わない」と感じている子ども達も減少はしたものの、どの学年でも1%程度います。それぞれに個別の理由があると思いますが、「学校が楽しくない」と感じながら学校に来ている児童がこれだけいるということを受け止め、様々な取り組みを行っていく必要があると考えています。

今年度は、「授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることがある」「ク

ラスで意見を発表している」の項目の肯定的意見が増えたことは、今年度指導の重点において「やってみよう！」を念頭に、意欲的に授業に取り組む場面を設定した授業づくりを行ってきた成果であると考えています。また昨年肯定的回答が少なかった「クラスの先生の他にも、保健室などで話せる先生がいる。」の肯定的回答が高くなったことは、昨年度の反省を踏まえ、学級の中でのつながりにとどまらず、学校全体として子ども達を支え、誰にでも相談しやすい環境を意識して取り組んだ成果であると考えています。

反面、高学年の児童においては、コロナ禍において従来通りの学校行事や授業内容等に制約がたくさんあり、活躍の機会が減少したこともアンケートを通してわかってきています。

今年度も「授業が楽しい」と「毎日が面白い」「学校が安心」を三本柱に、重点目標を『やってみよう！』を設定し、先生も子どもたちも意欲的に取り組むことができる学校を目指して日々取り組みを進めてきました。その成果は少しずつ表れていますが、「先生が頑張ったことを褒めてくれる」と感じることができていない児童もみられます。今後も、自己肯定感を高められる取組や教職員の指導方法の充実を図り、意欲的に毎日の活動や生活を送ることができ、安心して学ぶことのできる学校づくりに努めてまいります。

【2. 保護者アンケートより】

- 肯定的評価が80%以上の項目は、21項目中16項目でした。特に90%以上の高い評価の項目・昨年度より大きく増えた項目は、以下の項目でした。
 - ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。
 - ・子どもは学校に行くのを楽しみにしている。
 - ・学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切であり、教育方針・内容をわかりやすく伝えている。
 - ・宿題の量や難易度は適切である。
- 肯定的意見の低かった項目は、以下の項目でした。
 - ・学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。
 - ・学校の設備・学習環境はほぼ満足である。

今年度も、新型コロナの影響で、夏休みの延長や臨時休校の措置を取るなど、例年通りの教育活動が難しい場面も出てくる中、学校からご家庭への連絡について評価いただけたことは非常にうれしいことと考えています。また、お子様が学校に行くのを楽しみにしていると90%近く感じていただけていることも、学校としての励みになります。昨年度、1人1台のipadの導入により、休み中の連絡帳の共有や課題提示・授業配信を模索しながら行ったことも一つの要因と考えています。学校としても初めての経験となりましたが、学習等への有効活用等今後も研究を重ね、教育活動を進めてまいります。

昨年度と同じ傾向ではありましたが肯定的回答が少なかったのが「学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる」の項目でした。いじめのない学校づくりについては、昨年度から「いじめ予防授業」に年間3回取り組み、いじめを正し

く理解し、いじめを許さない環境づくりの推進を進めています。また担任を中心に、いじめのない安心して学ぶことができる集団作りを今後も続け、子どもたちにはもちろん、子どもたちの姿を通して、保護者の皆様にも学校での取り組みや姿勢を伝えていけるよう努めたいと考えています。

全ての項目のうち、最も満足度が低く本校の課題としてあげられるのが「学校の設備・学習環境」です。この項目につきましては、昨年度から「思わない」と回答された割合が減少しているものの、依然として肯定的回答の低い項目です。今年度は特別教室のエアコンの整備も終了し、子どもたちが学習する教室のすべてにエアコンが整備されました。少しずつではありますが、今後も子どもたちの学習環境の整備を市にも依頼をしながら取り組んでまいります。

【3. 保護者の皆様からのご意見より】

今年度も保護者の方々からたくさんの貴重なご意見、ご感想、ご指摘、そして温かいお言葉をいただきました。また、記名にもご協力ありがとうございました。ご記名でいただきましたご意見は、お子様や保護者の皆様のお顔を思い浮かべながら改善に向けて対応等を検討することができるため、大変ありがたいです。今年度は個人懇談後のアンケートとなりましたので、回答をお伝えすることができておりません。ここでは、全体に関わる内容について趣旨を記載し、回答させていただきました。いただいたご意見は、全教職員が目を通し、今後の教育活動に活かしてまいります。ご理解の程よろしくお願いいたします。

《コロナ禍の行事について》

- ・太陽の広場は通常の開催にもどるのはいつごろですか。
- ・コロナ禍で制限のある中ですが、学校行事や社会見学・遠足・水泳学習など市内の他校と違いがあるのはマンモス校という理由だったのでしょうか。
- ・たくさんの行事が保護者一人となったことは非常に残念でした。
- ・運動会や表現発表会が、学年別になったことが非常に残念でした。

日々の学習の成果や子どもたちの頑張る姿を、保護者の皆様にみていただきたいという気持ちは、すべての教職員の思いでもあります。各行事においては、何とか子どもたちの姿を見て頂くために、実施方法や時期について検討を重ね、PTA役員の皆様のご協力も頂きながら安心・安全に実施できるよう進めてきました。また、実施については、各学校の規模だけでなく、施設の条件や行事の方法等に違いがあるため、市教委からの指導のもと実施状況を様々な角度から検討したうえで判断をしております。行事の有無について問い合わせも多いこともあり、少しでも早く判断を保護者にお伝えするという視点で、他校より少し早く判断をした部分もありました。

今後できるだけ、子どもたちが意欲的に学ぶことができる教育課程の中身となるよう努力してまいります。

《行事での写真・動画撮影について》

- ・体育の演技や表現発表会など、保護者の参観が一人と制限される中、撮影ができず残念でした。体育の表現活動においてはDVDでは我が子が映る場面が非常に少なく、楽しみにしていた祖父母もとても残念がっていました。ビデオを見ながら家族や祖父母らと練習の時の事や、本番の時の気持ちについて話をする機会が難しくなっていました。
- ・動画撮影業者に以前から依頼をしてからとしても、保護者への公開をするのであれば個々の撮影を認めていただきたかったです。学年が分かれたので、特にそう思いました。

今年度もコロナ禍における行事や体育学習発表会・音楽表現発表会の内容については、感染予防を考えた上でそれぞれの学習計画を立てて行いました。お子様の成長した姿をより多くの方に見ていただくことができず、申し訳なく思っております。少しでも保護者の皆様に見ていただける機会を作るという視点で検討を重ねていたため、体育の表現活動については、急遽公開を行う対応となりました。しかしながら、今回の対応が万全でなかった部分も多くあったと認識しております。

ビデオ撮影については、教室での授業と同様、授業の一環として、個人情報保護の観点でご遠慮いただきました。今後も学習内容や保護者の皆さまへの公開については、感染症対策も視野に入れ、工夫をし、臨機応変な対応を検討してまいります。

【4. まとめにかえて】

「心を磨き 志を育む」という教育目標のもと、今年度は「やってみよう！～みんなのアイデアがみな小をつくる！～」を重点目標とし、コロナ禍ではありませんが、昨年度よりさらに子どもたちが意欲的に取り組むことができる教育活動を目指して取り組んできました。まず、子ども達が、『やってみよう！』と「主体的」に学ぶ姿を作り出すこと。そして、『友だちと一緒にこんなことできた！』と「協働」と「深まり」を感じることができること。このことに重き置き、教育活動や指導を進めてきてきました。これは、今後も追求し続けたいテーマです。

今後も、学校として様々な取組を通して織りなす子どもたちの姿の発信に努めますので、ぜひ子どもたちの生活や行事等の様子をご覧いただき、ご家庭で学校の話をする際の話題とされ、学校の様子に少しでもふれて頂けたらと考えております。また、これからの子どもたちの「生きる力」を育てる組織的な学校体制をより確かなものにするために、保護者の皆様から頂いたご意見を学校として真摯に受けとめ、学校と家庭がコミュニケーションを図りながら「質の高い教育の創造」に努めてまいりたいと考えております。